



「大学ゴルフ授業研究会」 WEBサイト

サポーター企業募集に関するご提案書

本WEBサイトの主旨

ゴルフ場未経験の学生をゴルフ場へ誘引



武蔵野美術大学の体育授業（正課）でゴルフを教える北徹朗准教授は2014年9月、全国の4年制大学782校の体育授業で「ゴルフ」を採用している大学の実態調査を発表しました。これによると、ゴルフは一般教養課程（単位取得科目）における体育授業での採用数が、他のスポーツに比べて格段に多く、延べ約580の授業で採用され、最大10万人規模の学生がゴルフを学んでいることがわかりました。

受講学生は部活動や同好会、サークルとは異なり、大半が未経験者もしくは初心者ですが、その一方、ゴルフ場で授業を行うケースは全体の1割程度であり、多くの「ゴルフ授業」は学内の施設で修了していることもわかりました。

本WEBサイトの役割は、「ゴルフ場未経験」の学生をゴルフ場へ引率するための導線を作り、実際にゴルフ場の素晴らしさを体験してもらい、大学ゴルフ授業の充実を図ることが一義的な目的となります。

併せて、全国の大学でゴルフ授業を担当している「教員の輪」を、本WEBサイトを通じて組織的に拡大し、各授業における問題解決や、これを支援するゴルフ業界（ゴルフ場、用品、プロ、練習場）との連携を、円滑に進めるツールにしていきたいと考えております。

<http://daigaku-golf.org/>

■ベーシック認証

ユーザー名: golf パスワード: daigaku



武蔵野美術大学
北徹朗 准教授

役職	名前	所属先		
代表	北 徹朗	(武蔵野美術大学)		
幹事	高橋宗良	(鎌倉女子大学)		
幹事	安部久貴	(北海道教育大学)		
	橋口剛夫	(帝京科学大学)		
	松林幸一郎	(亜細亜大学)		
	石崎聡之	(芝浦工業大学)		
	西垣景太	(中部大学)		
	岩沼総一郎	(帝京科学大学)		
	浅井泰嗣	(目白大学)		
	栗原浩一	(筑波技術大学)		
	松村公美子	(武庫川女子大学非常勤講師、LPGAプロ会員)		
	高橋亮輔	(日本大学)		
	沖 和磨	(日本大学)		
	小川哲也	(早稲田大学)		
	松井 健	(追手門学院大学)		
	樋口和洋	(東京経済大学)		
	小林勝法	(文教大学)		
	小山慎一	(帝京科学大学)		
	森 正明	(中央大学)		
	服部由季夫	(星槎大学)		
	重藤誠市郎	(東海大学非常勤講師)		
	井上建夫	(武蔵野美術大学特別講師・PGA副会長)		
	宮下 智	(帝京科学大学)		
	緒方貴浩	(帝京大学)		
	高丸 功	(学習院大学)		
	後藤光将	(明治大学)		
	工藤和俊	(東京大学)		
	村山光義	(慶應義塾大学)		
	石手 靖	(慶應義塾大学)		
	石渡貴之	(立教大学)		
	佐野村学	(帝京大学)		
	田畑 亨	(流通経済大学)		
	重城 哲	(日本大学)		
	田原亮二	(名校大学)		
	野澤むつこ	(立命館大学、LPGAプロフェッショナル会員)		
	高橋憲司	(愛知学泉大学)		
	宮澤太機	(至学館大学)		
	桂華麻希	(藤田保健衛生大学客員講師)		
	荒谷浩輔	(千葉商科大学)		
	久保賢師	(千葉商科大学)		
	濱部浩一	(日本獣医生命科学大学)		
	菅生貴之	(大阪体育大学)		
	桂 豊	(甲南大学)		

「大学ゴルフ授業研究会」とは？

大学でゴルフ授業を担当する教員「100名体制」を目指し
ゴルフ授業の効果的な進め方や課題、実例等を議論・発表

大学ゴルフ授業研究会は、武蔵野美術大学の北徹朗准教授が代表を務める大学教員の組織で、2012年11月に発足しています。大学でゴルフ授業を担当する約40名の教員が加入しており、ゴルフ授業の効果的な進め方や課題、実例等を議論・発表する場となっています。

大学業界は、2018年に対象学生人口が急激に縮小する「2018年問題」を抱え、今後、大学数の減少や学部の閉鎖が予想されるため、大学教員は自らの得意分野を確立するなど職場確保が不可欠となります。

そのため、ゴルフの「授業方法」は大学教員にとって魅力的な研究対象となり得、ゴルフ授業に付随する学術的な試みも加速するとみられます。同研究会に所属する教員は、学生をゴルフ場等へ引率するなどの役割から「世話人」と呼ばれ、中期的に「世話人100名体制」を目指し、ゴルフ場体験の活動を全国的に広げたいと考えています。

現在の主要な活動は、学生とゴルフ場を接続する課外授業の「Gちゃれ」となります。

「Gちゃれ」とは？

マナー等を説明する座学と4ホールの体験プレー



「Gちゃれ」は、大学ゴルフ授業研究会が主催している学生の「ゴルフ場デビュープログラム」で、2015年8月に第1回（イーグルレイクGC、千葉県）が行われました。2016年8月には第3～4回が八王子CC（都下）で開催され、2日間で計44名の学生が4大学から参加。八王子市内には21大学、10万人超の大学生が集まっていることから、「三者連携」のひな型として「八王子モデル」が全国に先駆け行われました。



八王子CCで行われた「Gちゃれ」の参加費は昼食代を含め3000円で、ゴルフ場の成り立ちやマナー等を説明する座学と4ホールの体験プレーが主な内容です。

学生へのアンケート調査では、「とても楽しかった」（86・4％）と「まあ楽しかった」（13・6％）を合わせ、全員が「満足」という結果でした。「Gちゃれ」の参加費はゴルフ場によって異なり、来春開催予定のG M G八王子ゴルフ場（都下）では税別1000円が予定されます。



ゴルフ課外教育プログラム **Gちゃれ**

第3回 2016年8月 5日(金)
第4回 2016年8月 17日(水)

於： **Three** 八王子カントリークラブ
協力：大学ゴルフ授業研究会 （一社）日本ゴルフ場経営者協会

参加資格： 「ゴルフ」の授業履修者（過去に履修したことのある人もOK）
費用： 3000円（用具代、プレー代、昼食代、講習料等全て込み）
必要なもの： ゴルフ用手袋、運動靴、着替え
時間・場所： 午前10時八王子駅集合（ゴルフ場のバスが迎えに来ます）
申込方法： 7月22日までに下記メールアドレスに「希望日」「受講曜日・時間」「氏名」をお知らせ下さい。折り返し詳細を連絡します。

問い合わせ：

●ゴルフをみんなのスポーツへ

●ホームページをリニューアルいたしました(<http://www.igga.or.jp>) QRコードはこちら→



「三者連携」とは？

日本プロゴルフ協会（PGA）、ゴルフ市場活性化委員会（GMAC）と調印

全国大学体育連合（大体連）と日本プロゴルフ協会（PGA）、ゴルフ市場活性化委員会（GMAC）は2016年6月、スポーツ庁の鈴木大地長官列席のもと「三者調印式」を行ないました。スポーツ庁は2025年を目処に、スポーツ産業規模を現在の3倍に当たる15兆2000億円に成長させたいと考えており、健康寿命の延伸や医療費削減に寄与させる方針です。ゴルフはスポーツ市場で最大の規模であることから、スポーツ庁も今回の「三者連携」に期待しています。

三者連携の目的は、

- ①受講学生のゴルフ継続意欲向上
- ②ゴルフマナーの啓蒙・普及
- ③ゴルフ授業環境の改善
- ④指導教員のスキルアップ
- ⑤ゴルフに関わる知識教育



が主目的です。大体連は大学ゴルフ授業研究会の活動を側面的に支援し、PGAは指導教員や学生のスキルアップを支援します。

また、一連の活動で重要な役割を担うのがゴルフ関連4業種（ゴルフ場、用品、練習場、メディア）が加盟しているGMACです。構成団体の日本ゴルフ用品協会（JGGA）は、加盟メーカーの協力を得て、既に千数百本のゴルフクラブを大学に寄贈しており、日本ゴルフ場経営者協会（NGK）は、「Gちゃれ」の受け皿となるゴルフ場を提供。八王子CCでの開催はこのような経緯によるものです。

本W E Bサイトの役割

最大10万人規模の学生ビギナーを雲散霧消させることなく、よきゴルファーに育てる

本W E Bサイトは、大学ゴルフ授業研究会の活動主旨に則り、その活動を円滑に進め、活動内容を広く周知させるメディアという位置づけになります。併せて、「世話人」となる大学教員の研究・発表・論文掲載の場となり、ゴルフ授業に関わる学術的な深耕と広がりを持っていきます。

本W E Bサイトの機能的な役割は、

- ①「Gちゃれ」の活動内容を各種S N S等を活用して訴求、学生の参加意欲を高めること
- ②ゴルフ授業に関わる各種レポートの掲載や問題・解決策、効果的な指導法を明らかにすること
- ③参加学生へのアンケート調査等でゴルフに関わる意識・傾向値等を探ること
- ④大学業界とゴルフ業界の「産学協同」を進めるブリッジング機能を担うこと

の4点に集約されます。

これらを有機的に絡ませながら相乗効果を高め、その結果、ゴルフ業界が直面している若者需要の創造を図り、ゴルフ市場の活性化につなげます。

大学生はすぐに社会人となるため、従来のジュニア育成に比べて「消費者」になるまでの時間が短く、ゴルフ授業を選んだ学生の声も「社会で役立つ」「いろいろな人と交流できそう」といった期待感が多く聞かれます。最大10万人規模の学生ビギナーを雲散霧消させることなく、よきゴルファーに育てることが本W E Bサイトの役割でもあると考えます。



「サポーター企業」とは？

●申込条件

「大学ゴルフ授業研究会」の活動にご賛同いただける企業様

●サポーター企業様募集期間とサポーター期間

募集期間：2016年11月14日～
2017年10月31日まで

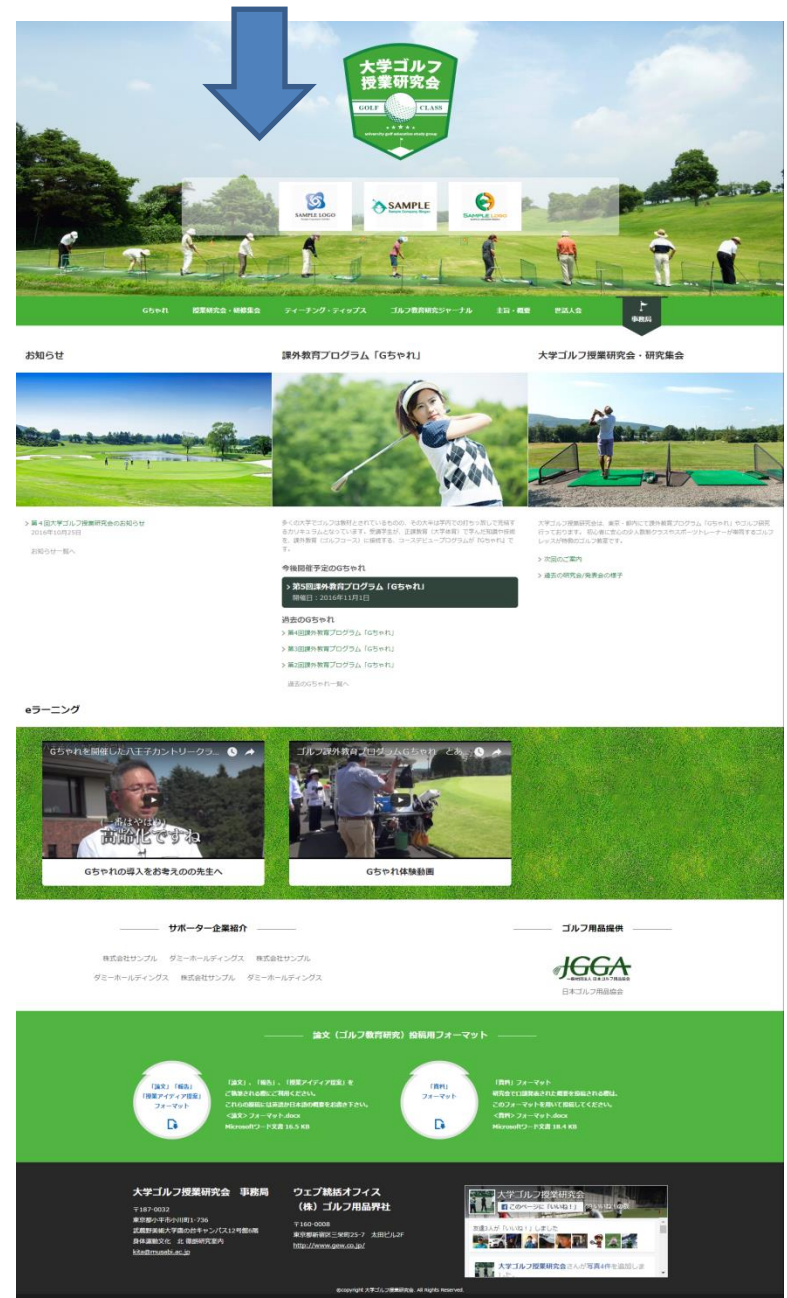
有効期間：上に同じ

●サポート費用（HPトップへバナーを掲載）

3万円／月払い（税別）

32万円／年払い（税別）

* バナーサイズ Y451×T351 pixel



各特典の詳細

■HPのトップページにバナー掲載

公式ホームページにリンクをします。当サイトとリンクする事が出来、各サポーター企業様のブランドイメージUPに繋がります。

以下は予定ですが、今後、サポーター企業さまのメリットに繋がることをご一緒に考えて参ります。ご意見を是非お聞かせくださいませ。



■会場チラシ配布

Gチャレ当日、貴社のチラシを同封します（A4サイズ1ページ）。参加者へPRを行う絶好の機会となります。

■メールニュース配信

毎月1回配信

Gチャレ登録の大学生へ毎月1回、貴社のお伝えしたい最新情報を配信することができます。（文字数はこちらで設定させていただきます。） ※申し込み多数の場合は、送信調整は事務局にて行わせていただきます。



■ 参加学生へのアンケート収集

Gチャレ参加学生へサポーター企業によるアンケート収集が可能。大学生の声を反映した商品開発や新規サービスを提供したいと考えている企業様が実際に利用されています。



ゴルフ用品界社の役割

コンテンツ内容の充実や「産学協同」の促進を担う

弊社は、大学ゴルフ授業研究会（北徹朗代表）からの委嘱を受けて2016年9月、本WEBサイトの共同運営会社となりました。

同研究会からは、弊社が業界で培ってきたノウハウを活用することへの期待があり、弊社は本WEBサイトの活用により、ゴルフ市場の活性化に微力ながら寄与させて頂きたいと考えております。

そのため、弊社内に大学ゴルフ授業研究会の「WEB統括オフィス」を設置し、コンテンツ内容の充実や「産学協同」の促進、また、これらを強力に進めるための営業機能を担ってまいります。

■会社概要

会社名：株式会社ゴルフ用品界社 Golf Equipment World

所在地：〒160-0008 東京都新宿区三栄町25-7 太田ビル2F

電話 03-3351-1501

FAX 03-3351-1706

設立：昭和53年（1978年）3月

資本金：1600万円

代表者：片山哲郎

主要業務：月刊ゴルフ用品界の発行、ゴルフ業界の求人求職

JGGANewsの編集（日本ゴルフ用品協会発行）、

日本ゴルフジャーナリスト協会事務局

主要取引銀行：みずほ銀行四谷支店

